

年 組 名 前 :



世界が直面している課題の解決に向けて取り組み、すべての人が幸せに暮らせる社会の実現を目指す言葉「SDGs(エス・ディー・ジー・ズ)」が注目されています。「持続可能な開発目標」という意味の言葉で、2030年までに達成したい17分野の目標が示されています。私たちは具体的にどのようなことに取り組みたいのでしょうか。「ハローキティ」と一緒に学びましょう。

再生エネの割合増やそう

SDGsの目標の一つ「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」では、誰もが安くで信頼でき、悪い影響が出ないエネルギーを利用できるようにすることを目指しています。

世界には電気を使えず、不便な生活をしなければならない人が8億人いるといわれています。夜になると真っ暗になるため、とても危険で、勉強することもできません。病気がけがを治すための機械も動かさません。

また、これまでは石炭や石油といった燃料に頼ってきました。こうした燃料は限りがあり、人体に悪い影響を与えることもあります。一方で、太陽光や水力、風力は繰り返し使う

ことができ、発電施設も簡単につくりやすいという特徴があります。自然の力を使って発電したエネルギーのことを、クリーンエネルギー(再生可能エネルギー)と言います。

「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は「安くで信頼できるエネルギーを利用できるようにする」「再生可能エネルギーの割合を増やす」など五つの具体的な目標があります。

山梨県には富士山や北岳といった高い山々があり、川からたくさん水を使うことができます。県内には、水車などを使った水力発電施設の仕組みをつくっている会社もあります。

＝次回は2月17日に掲載します

「#HelloSDGs」スペシャルサイト (<https://www.hellosdgs.com/>) ではハローキティと一緒に、さらに詳しくSDGsを学ぶことができます。今回の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を扱った動画「エネルギーのことがよくわかる実験やってみた!」は右のQRコードからもアクセスできます。



(2022年1月20日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと9面)

問1

再生可能(クリーン)エネルギーには、どんなものがありますか。3種類挙げてください。

「 」 「 」 「 」

問2

石炭や石油などの燃料での発電に頼らず、再生可能エネルギーを利用した発電を増やす動きが出てきた理由を、それぞれのメリット、デメリットを交えながら書いてください。

.....

問3

山梨県内に、水力発電施設の仕組みを作る会社があるのは、なぜですか。

.....
